

令和4年度 俳句部門入選作品一覧

☆最優秀賞 1句

「コロナ禍^かや疫病^{えきびょう}祓^{はら}って豆^{まめ}を撒^まき」

鈴木 勸 (岸町二丁目町会)

最優秀作品の情景等

節分の夜に「福は内、鬼は外」と唱えながら豆を撒いて鬼を払います。この疫病である新型コロナウイルスも早く退散してもらいたいと作者のみならずみんなが思っている願いなのです。そのことを的確に表現されています。俳句は、十七音に季語を入れて作ることが基本です。その上に北区清掃協力会の俳句は、キーワードを入れなくてはならないということの難しさがあります。つまり、十七音から季語とキーワードの指定語句数を引いた言葉で独自のことを表現しなくてはならないからです。

(公益社団法人) 俳人協会評議員 朝日カルチャーセンター講師
石 嶋 岳

◎優秀賞 5句 順不同

「コロナ禍^かのベランダ^ご越し^{はっひ}の初日^での出」

野口 邦恵 (西が丘三つ和自治会)

「再生^{さいせい}に心^{こころ}し歩^{あゆ}む去年^{こぞ}今年^{ことし}」

坂本 和子 (桐ヶ丘団地N地区自治会)

「年神^{としがみ}を迎^{むか}えて我^{われ}も高齡化^{こうれいか}」

町田 延子 (東十条五丁目町会)

「清掃日^{せいそうび}コロナ^めのマスク^め目で笑^{わら}い」

岡崎 修 (公団王子五丁目団地自治会)

「再生場^{さいせいば}清掃員^{せいそういん}の汗^{あせ}光^{ひか}る」

八木 圀彦 (中十条三丁目町会)

○佳 作 5句 順不同

「日向ひなたぼこ国くにも憂うれえる高こう齡れい化か」

石田 清子 (堀船一丁目町会)

「コかロろナな禍かに服ふくのリうメめイまクしろ梅うめ真ま白しろ」

若林 ふさ子 (公団王子五丁目団地自治会)

「コかロろナな禍かの籠こもるしあわめざしや」

喜多村 江子 (中十条二丁目町会)

「飲のみ干ほせりラムネさいせいのボさトルせい再せい生せいか」

高内 信夫 (十条仲原一丁目町会)

「プようラき容あら器せい洗せいへばせいさはせいやせいか再せい生せいに」

鈴木 美知子 (岸町二丁目町会)

作品を他で使用しないでください